

大宮市・館岩村 歓迎 親善ツーマー



コスモスの花びらをそよぐのは、
交流賛歌の南風です。



きのご汁のかくし味は、
交流時代へのメッセージです。



あっ、大宮の市長さんがやってきた。姉妹都市
との交流プランは、郷土発展の礎です。



創作太鼓が共鳴するのは、
ココロ重視のゆとり空間です。

本都市との交流ことをはじめ、一九七六（昭五）大宮市立少年自然の家・建設構想を通じて交流が始まる。八〇（昭五）敷地内に温泉湧。八二（昭五）宮里大橋開通式で大宮市長・村民と市民ぐるみの交流の架け橋に」とあいさつ。十一月、大宮市立自然の家開設。館岩自然の教室活動始まる。大宮で村民観光キャラバン始まる。八二（昭五）小学生の大宮ホームステイ始まる。大宮で特産物直売会。村民文化祭で大宮市無形文化財「日進の餅つき踊り」を披露。八四（昭五）村祭りで大宮市の友情花火打上げ始まる。大宮市農業祭に館岩コーナー開設。八五（昭六）親善ツーマーチ始まる。大宮市職員音楽愛好会シャルマン・コンサート。八六（昭六）会津鬼怒川線開通し、電車で首都圏直結。八九（平一）大宮市の中藤喜八郎元教育長・東武鉄道の豊島勅事務、村まつりの花火協賛を続ける大宮市の進藤孝オリエンタル火工社長の三氏を名譽村民に推戴。九一（平三）大宮市博物館の会津高原たていわ展で湯ノ花神楽上演。友好の森に記念植樹。九二（平四）山村と都市との交流優良事例（国土庁長官賞）。九五（平一）村内への保養施設建設構想を通じて、東京都墨田区との交流始まる。九六（平八）大宮の小学生が飼育した舘岩生まれのヘイケボタルを里帰り放流。大宮市立少年自然の家利用者は累計二万人、延七八万突破。